



カナダからの手紙

倉吉RC交換留学生の見た世界



浦田 大地

こんにちは。みなさんお元気ですか。今年の核は本当に奇麗だということと本物を見たてしようにないのですが、今春は北国で過ごしていますのでどうしようもないです。ただ友人がフェイスブックにその写真を投稿しているので仕方なくそれを眺めて我慢しています。皆さんがうらやまします。

さて今回は、僕が参加しているロータリークラブの青年交換留学プログラムについてご紹介したいと思えます。

ロータリークラブは世界規模の非常に大きな奉仕活動団体です。世界平和を旨とし、さまざまな支援、活動を行っています。例えばワクチンを支給し世界の99%の子供たちをポリオから救っています。さらに残りの1%の子供たちを救うよう

努めています。

本当に素晴らしい団体です。僕はその団体の留学プログラムに参加しているのですが、これは単なる語学留学などではなく、国際社会で生きていくための力を養うためのものだと考えています。1年間のうちに非常に多くの人々に出会い、人間同士のつながりを体感できます。もちろん外国に行くこと知り合いなんで一人もいないので自立しなければならぬのですが、それが自分を成長させてくれるものだと感じています。

ほかにもいろいろな留学プログラムがありますが、

現地でのサポート、プログラムの充実さを考えるとこの交換プログラムは最高のものではないかと思えます。僕も正直留学すること不安を抱いていましたね。でもそんなものはカナダに来てからすぐに消えてしまいました。確かに、知らないということは怖いことかもしれませんが。でもそれを冒険だと考えることができます。できれば素晴らしいです。自分を変えたい、知らない世界を見てみたい、もしそうなら絶対挑戦してください。

(カナダ留学中、倉吉市出身) (月1回掲載)



カナダの仲間たちに囲まれる浦田君 (前列右から3人目)

青年交換留学プログラム

国際社会で生きる